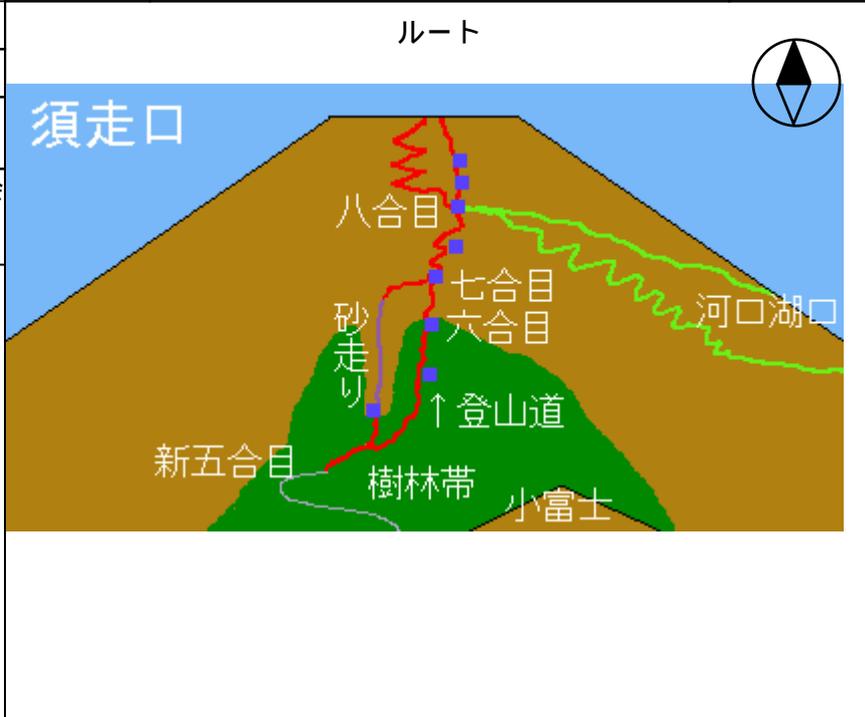


7月度個人山行報告書			報告者	長島博美	参加メンバー	長島 博美 立木 孝枝
			報告日	'06 8/9		
山域	富士	山行日	2006年7月15,16日			
山名	富士山					
山行目的	夜間登山と御来光		コースタイム(天候:天気図記号)曇りのち雨			

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会
担当者



7月15日、16日
12:30 刈谷駅にて合流
20:00 須走口手前にて駐車後仮眠
21:30 起床、準備
22:20 須走登山口発
4:18 御来光の為、休憩
4:50 御来光
5:50 小屋発
6:50 山頂着 朝食
8:30 頂上発
11:05 須走登山口戻り
15:30 温泉発
20:30 刈谷駅解散

初の個人山行、富士山、夜間登山と言うこともあり、事前情報収集を入念に行った。軽量化と防寒具で挑む。天候は曇り。須走口駐車場には入れなかったが、路駐し1.5時間の仮眠後出発。ゆっくり引きずる様な歩調で登る私たちが他登山者はどんどん抜いていった。最初の30分で一本。立木は慣れない高度に軽い高山病になりかけていた為持ってきていた酸素缶、酸素水で酸素を補給。酸素の効力を期待する。やがて樹林帯が無くなり、七合目大陽館辺りで雨がぱらつき出した。下界はダイヤモンドを散りばめた様だったが、上空の雨雲は重く、ヤッケを上下着込んだ。案の定、その後は強い風を伴う本降り。立木は酸素缶のお陰か気力と体調が戻っていた。八合目の吉田口登山道との合流地は、強風と土砂降りて停滞する登山者でごった返していた。私たちは先へ進んだ。強風は体を押し、足が前に出せない瞬間もあった。空が白み始めた頃八合五勺の御来光館へ到着。頂上では御来光は拝めないと判断し、御来光館前のベンチで御来光を待った。フリースを着込む。4時45分、雲の切れ目から太陽が顔を出した。いつしか雨は止んでいた。初めての富士山で美しい御来光を見られて実に幸運だった。御来光の朱に染まった一部分が徐々に白みだし一面が真っ白に光り輝いていく空を時間を掛けてじっくりと眺めた。

御来光待ちで体が芯から冷えたので、暖かい飲み物で体を温め、再び頂上を目指した。そこから頂上までは渋滞。6時50分登頂。頂上はガスリ、視界は0。お鉢めぐりを断念。残念だったが、雨が降っていなかったのはせめてもの救いだった。頂上でお土産を買い、朝ご飯を食べ、長い休憩の後、下山した。須走下山道では足を怪我した人が何人かいたが、私たちは下界の美しい樹海と山中湖を眺めながら軽快なステップで無傷で下山した。

(リーダー所見) 結局、御来光以外はずっと雨でした。睡眠、水分補給、軽量化、雨具、フリース、御来光待ちの寒さは冬。先輩方のアドバイスのお陰で無事何事も無く下山できました。この場をお借りして感謝致します。



確認(リーダー)
長島博美
06/7/18
作成報告者)
長島博美
06/7/18